

事業計画書

事業名	かがやけファーム事業																														
場所	沼津市 足高 地内																														
実施予定期間	平成 29 年 1 月 10 日 ～ 平成 29 年 9 月 30 日																														
日程	実施項目・作業項目																														
	<p>後継者や人材不足により農業の継続が困難となっている農家に協力し、農家の指導・監督のもと、農業にチャレンジしたいと考えている若い世代の農業体験教室を実施する。</p> <p>また、児童・生徒を対象とした収穫体験教室を実施し、自然や土に触れる機会を提供することで、子供たちの社会教育の推進を図る。</p> <p>なお、農業生産者支援制度を設け、収穫した農作物や加工品を会員に配送することで、農家と消費者を直接つなぐシステムを構築する。</p> <p>そのほか、簡単な農作業や農作物の配送に係る袋詰めや箱詰めといった補助的な作業については障害を持つ方に担当してもらうことで、障害者の雇用機会の支援を行う。</p> <p>【全体スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人スタッフ：5人 ・障害者雇用：5人（農作業：週2回 9ヶ月 計72日） <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>活動内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1月</td> <td>・耕作計画作成 ・農業者支援会員の募集</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>・農業体験教室参加者募集 ・春物野菜の植え</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>・農業体験教室の実施</td> <td>一般 15名</td> </tr> <tr> <td>4月</td> <td>・こどもの日親子収穫祭参加者募集 ・収穫及び会員への配送</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>・こどもの日親子収穫祭開催</td> <td>親子 20組</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>・耕作及び作付け作業 ・農業者支援会員の募集</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>・夏休み農業体験実習参加者募集</td> <td>20組</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>・夏休み農業体験実習</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>・収穫及び会員への配送 ・秋物野菜の植え</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	月	活動内容	参加者数	1月	・耕作計画作成 ・農業者支援会員の募集		2月	・農業体験教室参加者募集 ・春物野菜の植え		3月	・農業体験教室の実施	一般 15名	4月	・こどもの日親子収穫祭参加者募集 ・収穫及び会員への配送		5月	・こどもの日親子収穫祭開催	親子 20組	6月	・耕作及び作付け作業 ・農業者支援会員の募集		7月	・夏休み農業体験実習参加者募集	20組	8月	・夏休み農業体験実習		9月	・収穫及び会員への配送 ・秋物野菜の植え	
月	活動内容	参加者数																													
1月	・耕作計画作成 ・農業者支援会員の募集																														
2月	・農業体験教室参加者募集 ・春物野菜の植え																														
3月	・農業体験教室の実施	一般 15名																													
4月	・こどもの日親子収穫祭参加者募集 ・収穫及び会員への配送																														
5月	・こどもの日親子収穫祭開催	親子 20組																													
6月	・耕作及び作付け作業 ・農業者支援会員の募集																														
7月	・夏休み農業体験実習参加者募集	20組																													
8月	・夏休み農業体験実習																														
9月	・収穫及び会員への配送 ・秋物野菜の植え																														
事業効果	<p>農業の継続が困難となっている農家と協力し、農業体験教室を実施することで、若い世代の農業離れや耕作放棄地の増加を防ぐ。</p> <p>また、農業生産者支援制度の導入により、生産者と消費者を直接つなぐシステムを構築することで、安心・安全な食材を提供できるとともに、会員が増えることで、若者の農業に対する意欲が高まる。</p> <p>なお、農地管理にあたっては、障害者を雇用することで障害者の就労支援及び社会参画に繋がる。</p> <p>また、幼稚園や小中学校を対象に収穫体験教室を実施することで、親子の触れ合いが増えたり、自然や食に対する意識が芽生えるなど社会教育の推進が図られる。</p>																														

※評価の視点については、募集の手引きを確認してください。

公益性	<p>※不特定多数の住民の利益の増進、地域のまちづくりの推進に寄与する事項等を記載してください。</p> <p>愛鷹山付近では、後継者等の不足により農業を継続することが困難となってきた農家が数多くあり、このままの状態だと耕作放棄地となってしまう。耕作放棄地が増えれば、農業の衰退はもとより、害虫や鳥獣被害、不法投棄など様々な問題が生じることから、農家と協力して農業体験教室等を実施することで、耕作放棄地の増加を防ぎ、農業再生を図るだけでなく、農業生産者支援制度を導入し、直接、農家と消費者とのコミュニケーションの場をつくり、安心・安全な食を供給することができる。</p> <p>また、障害者の就労支援及び社会参画を推進するとともに、子供たちの社会教育にもつながる公益的な活動であると考えている。</p>
発展性	<p>※他の住民や地域との連携や、どのような波及効果が見込めるのか記載してください。</p> <p>農地管理にあたっては、農業生産者支援制度を導入し、本事業を軌道にのせ、農業生産者支援会員を増やすことで、若い世代に農業に対する意欲の向上を図り、農業再生に繋げていく。</p>
地域性	<p>※地域の実情・課題の解決に向け工夫した点、地域資源の活用などについて記載してください。</p> <p>愛鷹山付近には後継者等不足により農業の継続が困難な農家が増えて来ている。本事業は、農家の悩みを解消し、農業の再生を図るとともに、農地としてだけでなく、農家と消費者を直接つなぐ交流の場、農業にチャレンジしたい人の農業体験の場、障害者の就労支援及び社会参画の場、子供たちの社会教育の場として有効活用することで、地域の活性化に繋がる。</p>
必要性	<p>※事業を実施する意義や、財政的に支援を要する理由について記載してください。</p> <p>後継者等不足による耕作放棄地の増加防止は喫緊の課題である。</p> <p>また、農地を障害者の就労体験の場の提供、また子供たちの社会教育の場として活用することで、複数の課題解決に繋がる非常に有効な活動であると考えている。しかし、活動はじめてあり、農業者支援会員数もまだ少ない状況であることから、支援をお願いしたい。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、工夫した点について記載してください。</p> <p>放棄耕作地の増加防止対策として、ただ農地として活用するだけでなく、生産者、消費者、障害者、子供など、様々な立場の人達が関わることで、地域の課題解決の一端の担う農地のあり方を提唱している。</p>
継続性	<p>※助成事業終了後に、どのように継続的・自立的な活動に取り組んでいくのかについて記載してください。</p> <p>本事業に賛同してくれる農業生産者支援会員を増やすとともに、今回は試行的に実施するため、農業体験教室等については無料としているが、次回以降は参加料の徴収を検討するなど、財源確保に努め、今後も継続して実施していきたい。</p> <p>また、事業の状況を見極め、将来的に障害者自立支援法の就労継続支援B型事業所としての認定を受けていくことも視野に入れている。</p>